

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和5年度 第13号 R5.12.22 (金)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

今年もいよいよ年の瀬を迎えました。先週はインフルエンザが広がり、学年閉鎖・学級閉鎖を行いました。今週は元気な顔が復活し、通常の教育活動を行うことができている。年末年始、どうか健やかにみんなで希望に満ちた新しい年を迎えたいですね。

授業改革1 「モンスターシリーズ」

今年に入り、先生方が授業に使えるカードゲームを次々と開発しています。生徒たちも授業で盛り上がってくれているようです。元素記号の「アトモン」・四則演算の「すーもん」・オームの法則の「Elemon」・飽和水蒸気量の「ジメモン」・消化酵素の「KONAMON」など、ゲームに勝つためには暗算が出来ること有利なものもあります。ゲームの中で元素記号や化学式、消化酵素に触れる機会が増えます。教材を作成し、試しに教員同士でやってみて、意見を聞きながら修正し、どんどん進化しています。定着度を小テストなどで確認すると、授業でこれらのゲームをした後は、効果が上がっているようです。

1年生の社会科では新しいカードゲームを生徒自身が作成し、授業で活用しています。3年生の理科では3学期に使う惑星「プラモン」の準備ができています。まだまだ楽しみが続きます。

授業改革2 「目玉の解剖」

先日、2年生の理科の実験に参加させていただきました。内容は「ブタの目玉の解剖」でした。8つの班に1つずつ目玉が配られ、視神経の付き方から右目か左目かを判断したり、筋肉を剥がしたりしながら徐々に切っていく、目の仕組みを観察しました。レンズの美しさは想像以上でした。生徒たちもレンズを通して文字を見て、拡大されている様子を観察していました。しかし、目の内側があんなに黒いとは驚きでした。先生に聞くと、ウシは網膜が玉虫色だそうです。もしかするとブタは白黒で、ウシはカラーで見えているのかもしれないとおっしゃっていました。生徒とともに本当に貴重な体験ができました。ちなみに、ブタの目玉は教材として販売しているものです。

「桜」

創立当初から生徒の登下校を見守ってきた正門前の桜の木がカミキリ虫に食われています。駆除しようにも、もう手の施しようがないようで、所々枝が枯れて折れてしまっている部分もあります。

あと何年も持たないだろうと言われていた状態なのですが、よく見ると、この寒さの中ちゃんと次の春に向けて、つぼみをつけはじめています。何て健気なんだと応援したくなります。みなさんも是非お越しの際に見てあげてください。

「おたよりのデジタル配信」

期末懇談でもお知らせしましたが、3学期から保護者あてのおたよりはメールで配信させていただくことになりました。紙の節約と、確実に保護者に確認していただくためです。まだ登録されていないご家庭は必ずご登録お願いいたします。また、1家庭で複数のアドレス登録も可能です。是非ご活用ください。